アンダルシアの犬（1928）

UN CHIEN ANDALOU

メディア 映画
ジャンル アート
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 17分
初公開日 不明

【解説】

今みても感嘆する他にないシュールレアリズムの映像詩。Ｌ・ブニュエルの凄い所はこのイマジネイティヴな実験精神を失わず、メキシコ時代の通俗作品、後期の“アンチ”カトリシズムの不条理劇と、果敢な映画的創造を貫いたことだ。ダリが共同脚本を手がけた本作は全く論理的脈略はなく、あまりにも有名な、眼球を剃刀で真二つにされる女、路上に切り落とされた手首をみつめる女装の男、痙攣する掌を這い回る蟻の群れなど、夢魔的イメージが全篇を支配している。そこに何を読みとるかは観る者の自由。ただ、やがて内戦状態に突入していく２０年代の終わりのスペインで作られた点は何かを教唆するだろう。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	サルバドール・ダリ	Salvador Dali
撮影	アルベール・デュベルジャン	
出演	ピエール・バチェフ	Pierre Batcheff
	シモーヌ・マルイユ	
	ハイメ・ミラビエス	
	サルバドール・ダリ	Salvador Dali
	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.